

にっしん 農業委員会



日進市農業委員会
第13号
令和3年2月1日
編集・発行
日進市農業委員会
電話 (0561) 73-2197

だより



食育活動としての保育園児とたまねぎ収穫体験

令和2年7月に日進市農業委員会の会長に選任された市川豊でございます。日頃は、日進市の農業委員会活動に深くご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

近年日進市においても、全国同様な農家の高齢化や担い手不足や新型コロナウイルス感染症の拡大によるコメの消費低迷など農業経営には逆風となり農地の遊休化が進んでいます。

昨年の3月に、国において「食料・農業・農村基本計画」が策定され、担い手の育成・確保、新規就農の促進など農業基盤の底上げや、本市の主産業である米について、国内において今後とも見込まれる消費の減少への対策が盛り込まれました。

こうした中、日進市では将来にわたり持続可能なまちづくりの指針となる計画である第六次総合計画が審議されています。

日進市農業委員会におきましても、農地中間管理事業法の一部改正を受け地域の課題等を把握し、人・農地プランを推進しつつ「農地バンク制度」や「農地中間管理機構」を活用し、担い手への農地の集約化と農地利用の最適化活動、農地パトロールの強化による遊休農地の発生防止・解消に取り組んでいきたいと思っております。

また、次の世代を担う子供たちには「農」にも「食」の大切さを伝える「食育活動」にも取り組んでいきたいと思っております。

今後とも皆様の格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日進市農業委員会
会長 市川 豊

日進の「農」を守り、振興する
―農地を守る― 農業委員会の使命

多発する獣害への対応と被害補償

市内でイノシシ、ハクビシン、アライグマ、ヌートリアなどの獣害が発生しており、被害の実態把握を進めています。農作物への被害を確認されましたら、市役所農政課へご相談ください。また、農業共済に加入していると被害の一部が補償される場合もありますので、詳しくは愛知県農業共済組合にご相談ください。

今年度の市内の有害獣の捕獲状況：イノシシ 11頭・ハクビシン 8匹・アライグマ 8匹

日進市では 有害獣から農作物を守るための 対策に補助します！

◆防護柵等の設置費補助

目的：有害獣による農作物の被害を防止し、農業生産の維持及び向上を図るため、農作物の防護を目的とするワイヤーメッシュ柵や金網柵などの防護柵の設置に要する経費の一部に対し、予算の範囲内で補助します。

補助額：防護柵の購入金額の1/2以内（上限3万円）。

◆狩猟免許取得費補助

目的：地域の有害鳥獣捕獲活動の担い手を確保し、農作物被害の防除を図るため、狩猟免許の取得等に要する経費に対し、予算の範囲内で補助します。

補助額：狩猟免許の取得等に要する経費（上限3万円）

補助金の交付をご希望の方は、事前に農政課までお問い合わせください。



今年度に捕獲されたイノシシ



今年度に捕獲されたハクビシン

農地の貸し借りを支援します！

農地が適正に管理されないと、雑草の繁茂・病虫害の発生・不法投棄や火災の危険など、周辺の農業者や住民へ迷惑がかかります。

農地の貸借は、市が農地の貸し手と借り手をあっせん・仲介する「農地バンク制度」や、県の「農地中間管理事業」など、多くの仲介実績がありますので、農地の管理にお困りの際は農業委員会事務局にご相談ください。



経営と暮らしに役立つ情報をお届けします！
農家のための情報誌「全国農業新聞」

- ◆発行日 週一回（金曜）
- ◆発行元 全国農業会議所
- ◆購読料 月700円

お申込は、農業委員会事務局へご連絡ください。



農業者年金は国が保障する公的年金であり、もらはずれのない仕組みです。全額が社会保険料控除の対象

となるなど農業者にとってメリットの多い内容となっていますので、老後の生活に備えて加入してみませんか？

●連絡・相談先 日進市農業委員会（日進市役所農政課内農業委員会事務局） 電話：0561-73-2197



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



日進市農業委員会の取り組み



1 農地法にもとづく許可と 利用権設定の決定

毎月の委員会では、農地法に基づく「農地の売買・賃借」の許可、「農地転用案件」への意見具申、「農地利用集積計画」による利用権設定の決定などの審議と議決を行っています。利用権設定においては、認定農業者や新規就農者に対する農地の貸借を支援することで、「農地の利用集積」を進めています。

2 農地パトロールと 農地利用の最適化の推進

本市でも農地所有者の様々な事情による耕作放棄地が増加している為、「農地利用最適化推進委員」が中心となり定期的に農地パトロールを実施し、耕作放棄地や違反転用の未然防止と早期発見に努めています。違反転用に対しては指導を行い、遊休農地の所有者に対しては農地バンク制度等の活用を助言してい

ます。今後市内の農地の有効利用が図られるよう活動を行っていきま



3 「食育」の実践活動

委員の所有する農地において保育園児と玉ねぎなどの収穫体験を実施し、園児達に農作業の楽しさや、収穫の喜びを伝えていきます。



今後引き続き食育活動事業を継続し、農と食の大切さを次の世代に伝えていきたいと思



たまねぎ収穫体験



第24期委員の紹介

(令和2年7月より)

【農業委員】

- 市川 豊 (北新)
- 伊藤 修 (梅森)
- 尾関洋子 (米野木)
- 武田住男 (藤島)
- 田口菜穂美 (五色園)
- 萩野 章 (米野木)
- 萩野淑子 (東山)
- 牧 正行 (岩崎)
- 村瀬和樹 (北新町)
- 山本裕子 (岩崎)
- 和田義雄 (岩崎)
- 和田義賢 (折戸)
- 村瀬勝美 (蟹甲)

※敬称略、五十音順

認定農業者…田口委員
認定農業者である法人の役員等…尾関委員、内藤委員、武田委員
中立委員(農業者ではない者)…和田委員

4 定例総会での コロナ感染症予防対策

日進市農業委員会では、毎月開催される定例総会において、農地法等に基づいて、農地の売買や賃貸借、農地転用などについて審査を行っています。これらは地域の土地利用のあり方を踏まえた優良農地の確保とその有効利用をすすめる上で、とくに重要な業務となっています。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により開催が危ぶまれる中、4月に全国に先駆けた試みとして無料通話アプリのビデオ通話を使い開催いたしました。その後も新型コロナウイルス感染症が収束しないため、定例総会を安全に配慮しながら開催するために、市のシステムを活用し2会場の映像と音声を繋いだリモート会議を行いました。

音声が若干聞き取りづらいことがあるなどの課題はありますが、新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、農業委員会の重要な業務を滞らせることのないように今後も取り組んでいきます。



2会場にわかれてのリモート会議の様子



5 認定農業者の取組に ついて視察

新型コロナウイルス感染症により農業委員会としての活動にも制限がされるなか、市内で唯一の酪農の認定農業者である(有)愛知兄弟社さんが運営する愛知牧場へ、その取組について視察へ行ってきました。(有)愛知兄弟社は昭和29年に酪農専業として設立しました。現在は名古屋近郊という立地を活かした観光牧場として知られており、土日ともなると多くの来場者を集めています。施設内では乗馬クラブや、季節おりりの花が楽しめる花畑迷路、自家製牛乳

を使ったジェラートやプリンなどの6次産業化商品にも注力しており、近年は新しい都市近郊農業を目指して経営されています。6次産業化により魅力ある商品を多く生み出される中で、送料や手数料など販売にかかるコストなどの課題もあるとのこと。 (有)愛知兄弟社の前田俊司代表と意見交換をすることで、農業委員会としても協力が可能なことなどの多くの発見があった有意義な視察となりました。

